

令和6年度 木津中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	52	53	46	7.9	16.6
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	53	61.0	49.0	43.3	49.9	55.0	7.3	5.5	19.6	6.4	8.7
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	52.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.1	6.5
9月3日	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9

※ 3年生の理科はC問題を選択

令和6年度 木津中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

・本年度の全国学力・学習状況調査の結果より、大阪府及び全国平均を下回ったものの、国語と数学の対全国比において、令和5年度と比較して、国語は7p・数学は10p改善した。無回答率は、国語・数学ともに2.2p改善した。

＜国語＞全国と比較して、「我が国の言語文化に関する事項」の領域において5.5p上回り、「情報の扱い方に関する事項」も全国平均に近い水準であるが、「読むこと」の領域において5.3p下回った。問題演習や作文練習などの機会を増やし、どのように読み取るか、書くかといった「正しい形での答え方」を蓄積させ、未読の文章にも対応できる力を育成していく。

＜数学＞全国と比較して、「データの活用」の領域において10.1p下回った。演習問題の機会を増やし、問題文や表をどのように読み取り、どのように解答へ導くのかといった過程を大切にして、応用問題等で活用できる対応力を育成していく。

＜生徒質問紙＞テレビゲームや携帯電話（スマートフォン）を使う時間が多いことがわかる。また、家庭学習の習慣が十分ではなく、休日に全く勉強しない（34.3％）・1時間より少ない（14.3％）で48.6％となり、自ら学習に取り組む意識を持たせる指導が必要である。しかし「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」・「人が困っているときは、進んで助けていますか」・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する肯定的な回答はそれぞれ97.1％・97.2％・100％であった。

○中学生チャレンジテスト（3年生）

【成果】

・大阪府と比較して、5教科平均で2.48下回った。平均点における対府比は0.95（前年度0.99）であるが、無回答率は令和5年度2年時のチャレンジテストと比較して国語・理科・英語においてそれぞれ4.3、9.7、1.1ポイント改善した。

＜国語＞平均点は大阪府と比較して4.2ポイント下回ったが、「我が国の言語文化に関する事項」においては府平均と同等の値であり、また「読むこと」の事項では0.3ポイント上回っている。前年度は0.5ポイント下回っていたことを考慮すれば、読解力の育成は順調に進んでいる。

＜社会＞平均点は大阪府と比較して、1.4ポイント下回ったが、「思考力・判断力・表現力」「記述式」は府平均を上回った。授業内での毎時間のペア活動と資料活用の記述に取り組んだ結果が表れた。

＜数学＞平均点は大阪府と比較して、5.8ポイント下回ったが、「関数」や「データの活用」の領域において府平均に近い値であった。

＜理科＞平均点は大阪府と比較して、2.6ポイント下回ったが、「思考・判断・表現」「記述式」に関しては府平均を上回った。

＜英語＞平均点は大阪府と比較して、1.4ポイント上回ったが、「書くこと」「知識・技能」に関しては府平均を下回った。

【課題】

・基礎学力の充実を図るとともに、書くこと・記述などの文章作成・演習問題の機会を増やし、表現できる力を高めたい。

＜国語＞前年度と比較して記述式問題での得点の低下が見られた。多様な問題に対処するための演習を徹底したい。

＜社会＞普段から得意としている歴史的分野の室町時代が苦手であると明確にわかったため、基礎の対策を実施し課題解決に導きたい。

＜数学＞前年度よりも全体的に得点の低下がみられた。記述の問題では無回答も多く見られたので、どのように考えて問いを解いていくのか過程を大切にしていきたい。

＜理科＞短答式の問題に関しては府平均を下回る傾向がみられ、基礎学力の向上に引き続き取り組んでいく。

＜英語＞3技能のなかで「書くこと」のみ府平均を下回った。表現したいことを書くにはどの文法を使えばよいかを考える力をつけさせたい。

【今後に向けて】

・習熟度別少人数授業をはじめ、補充学習・放課後学習会・中3集中学習会や個別学習指導・分割授業等、個々の状況に応じたきめ細かい指導をさらに継続していく。

・朝食の喫食率が75％前後でとどまっている。改めて学習の基礎となる食の大切さを家庭と連携して啓発していきたい。

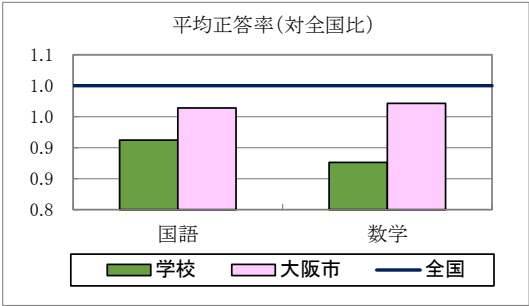
・互いの人権を尊重し、主体的、創造的に活動できる生徒の育成を目指しており、その成果が表れつつある。今後も更に学力向上につながる自己肯定感や自己有用感を高める取り組みを進める。

令和6年度 木津中学校のあゆみ
 ―結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について―

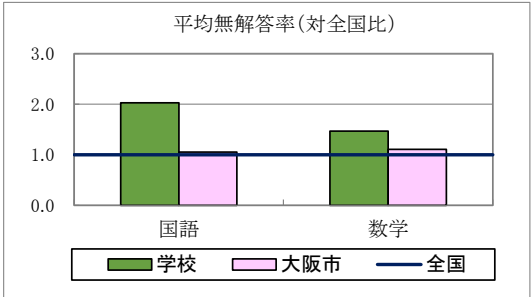
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	53	46
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

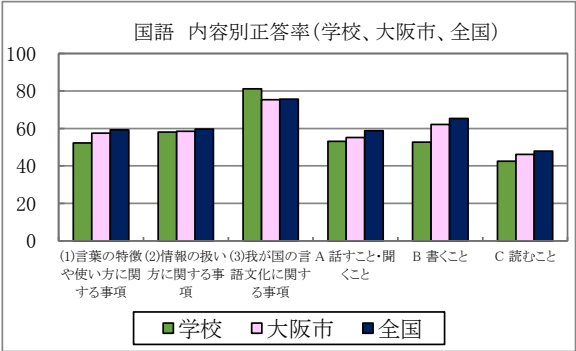


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	7.9	16.6
大阪市	4.1	12.5
全国	3.9	11.3



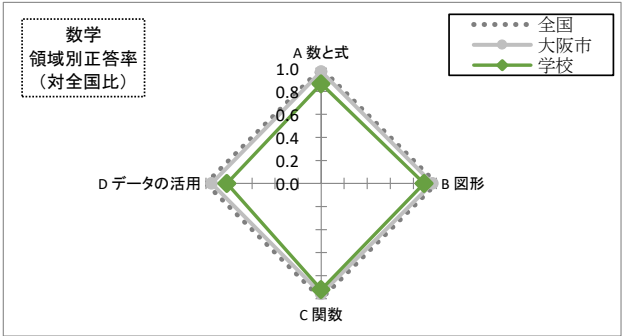
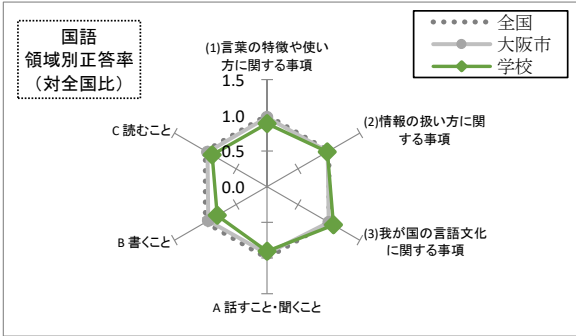
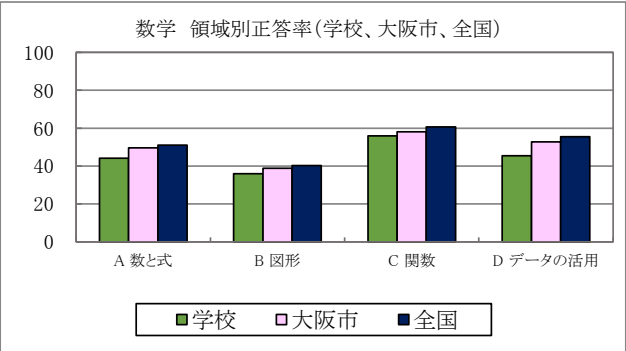
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	3	52.3	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	58.1	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化 に関する事項	1	81.1	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	53.2	55.2	58.8
B 書くこと	2	52.7	62.2	65.3
C 読むこと	4	42.6	46.2	47.9



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	44.2	49.6	51.1
B 図形	3	36.0	38.9	40.3
C 関数	4	55.9	58.1	60.7
D データの活用	4	45.4	52.8	55.5



令和6年度 木津中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

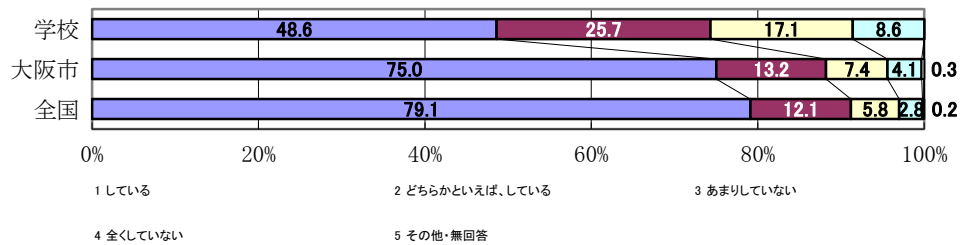
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

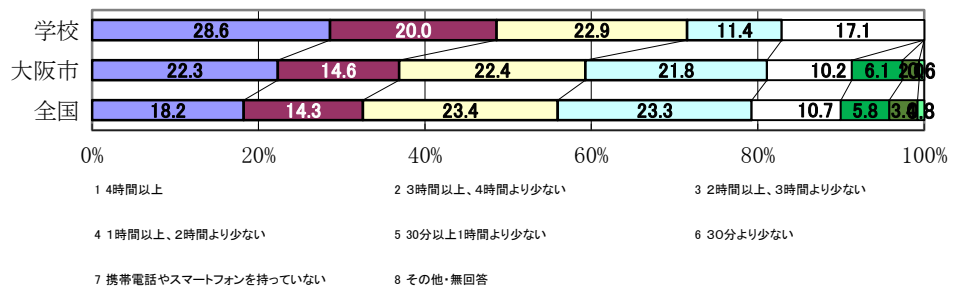
1

朝食を毎日食べていますか



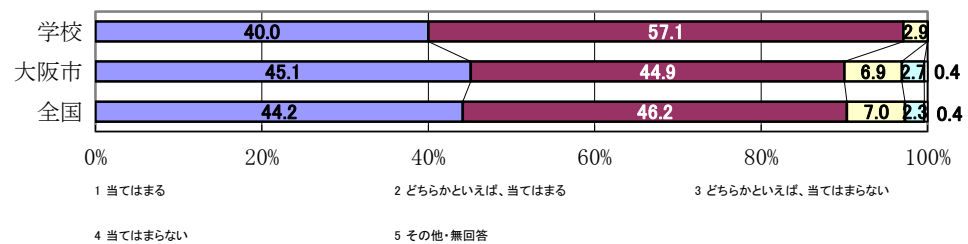
6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



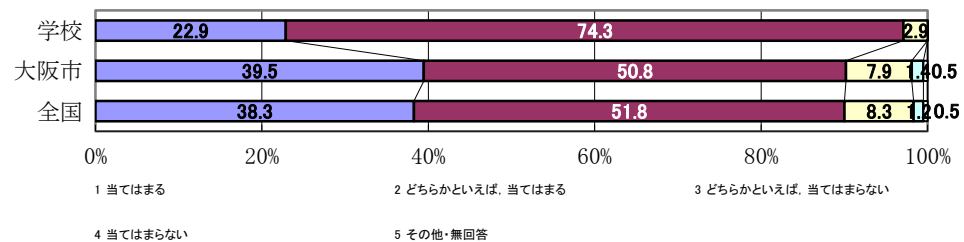
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



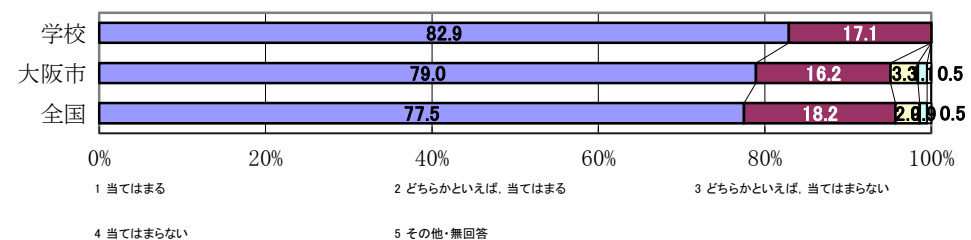
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



令和6年度 木津中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

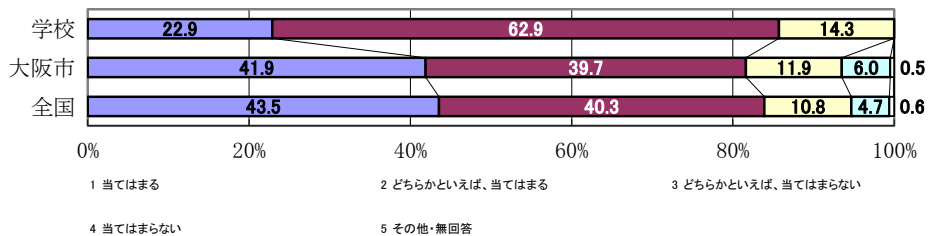
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

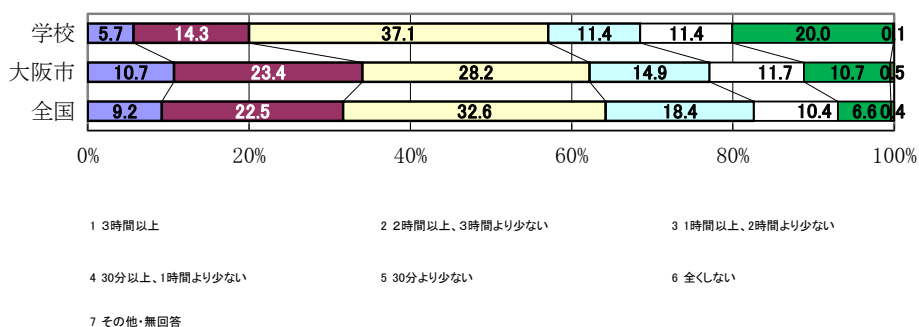
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



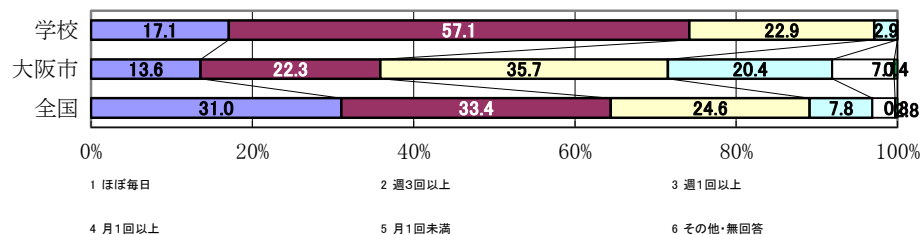
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



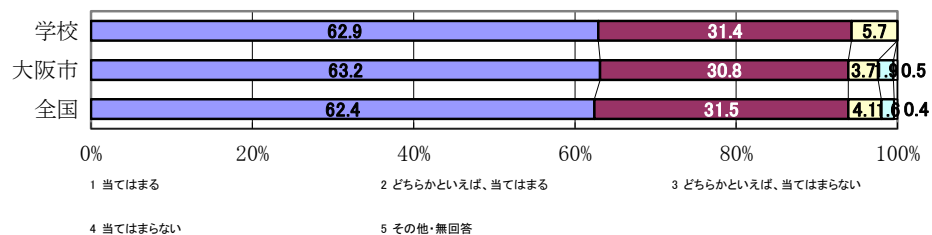
27

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



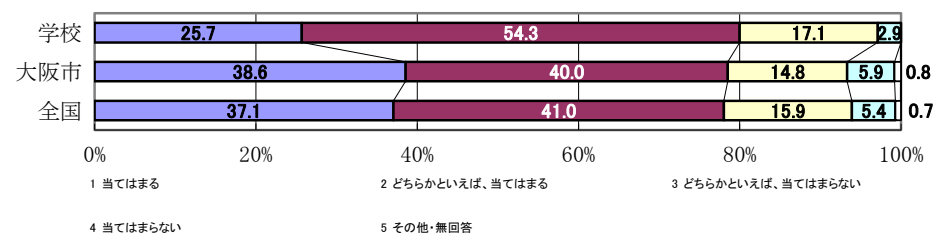
43

国語の勉強は大切だと思いますか



55

数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



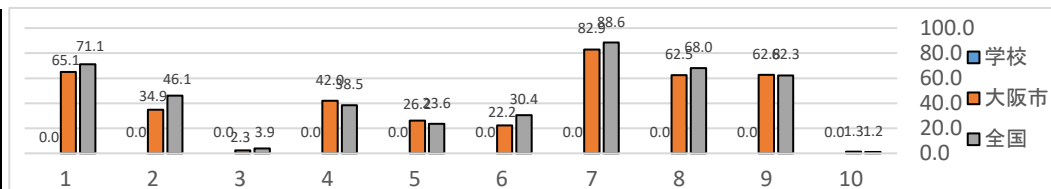
令和6年度 木津中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より（26）

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何を
して過ごすことが多
いですか(複数選択)



1 学校の部活動に参加している

2 家で勉強や読書をしている

地域の活動に参加している(地域学
校協働本部や地域住民などによる
学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で
勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を
除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事
を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲーム
をしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1～9に当てはまるものがない

令和6年度 木津中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

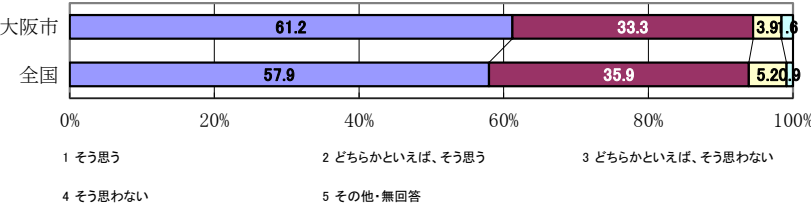
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

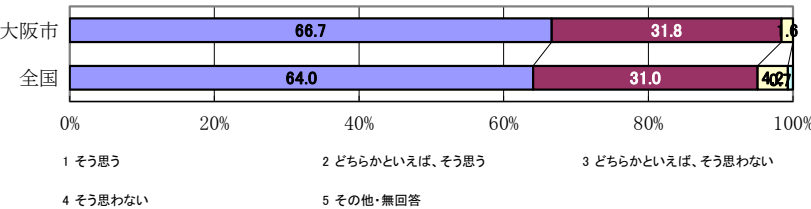
学校 「そう思う」を選択



8

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

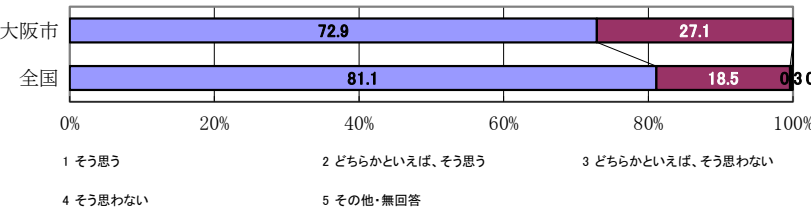
学校 「そう思う」を選択



21

各生徒の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

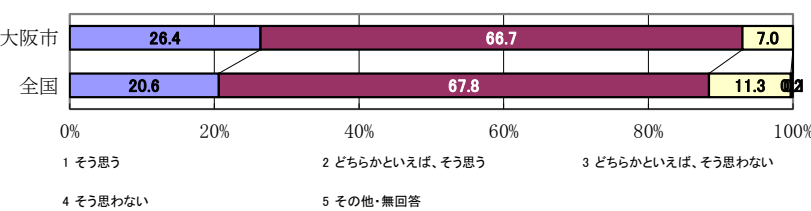
学校 「そう思う」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



32

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

学校 「よく行った」を選択

